

クラス番号	921	担当教員名	矢崎 裕美子
テーマ	雇用問題や労働問題を通して「キャリア」のあり方を考える		

ゼミナール概要

目的、内容、方法：

キャリアとは、狭義では職務経験の積み重ねのことですが、広義では人生の積み重ねのことでもあります。では、人々の、我々のキャリアはどのようにあることが望ましいのでしょうか。学生だったら次の進路を決めること？社会人だったらたくさんの給料を得ること？それとも起業すること？？キャリアの望ましさには多様な考え方があり、かつ労働問題や雇用問題と大きく関わってきます。本ゼミでは、我々を取り巻く労働問題や雇用問題を通して、キャリアの意味や望ましさについて幅広く考えていきたいと思えます。

年間ゼミ活動の目的は2つあります。1つ目は現代における雇用問題や労働問題を調べることで、社会の現状を知ることです。2つ目は、科学的な視点を養うことです。科学的な視点とは、客観的なデータを収集、分析や比較をし、論理的に物事を捉える視点です。この2点により、一年次で学んだ、基礎知識やスキルを活かし、3年次以降の専門演習につなげていきます。

授業計画：

<前期>

① 身近な地域で起こる雇用問題や労働問題について、個人またはグループで調べる

② データの収集方法や統計の基礎を学ぶ

興味のある領域について働いている人へのアンケートやインタビューを予定しています。

③ グループで本を読んでまとめる

授業内の課題としては、以下の本を読む予定です。著書のシャインは心理学者であり、キャリア開発や組織開発の専門家です。この本を通して、雇用、労働に関係する心理学の立場から「人を助ける」ことを理解できればと考えています。

・エドガー・H・シャイン著『人を助けるとはどういうことか～本当の「協力関係」をつくる7つの原則』

<後期>

④ 前期に学んだことを生かし、個人またはグループで研究テーマを決定する

⑤ 研究テーマに合わせて、適切な方法でデータを収集し、分析する

⑥ ④、⑤をまとめて成果発表、報告書を作成する

本ゼミでは、社会人（企業で働いている人や公務員など）にインタビューやアンケートを実施することができ（予定）。また、受講生の希望に応じて、労働問題や雇用問題に関するフィールドワークや施設見学も行いたいと考えています。

担当教員からのメッセージ

私は、高校生から大学生、大学生から社会人への「移行期」を心理学的に研究しています。この時期はもともと環境的、心理的变化が著しい上、現代社会もめまぐるしく日々変化しています。ゼミでは、そのような厳しい環境変化の中で、我々を含めた社会で生きる人々が、自分らしい「キャリア」を築くためには何が必要かを、真剣に、一緒に、考えていきたいと思えます。

また、主に社会人を対象としたアンケートやインタビュー等の客観的なデータを収集する予定です。その分析を行うため、簡単な統計も扱います。

本ゼミを通して、社会や地域の問題を理解しながら、みなさん自身のキャリアとも向き合うきっかけになるように活動していきたいと考えています。